

NPO法人 故郷の海を愛する会

2016年度 事業報告

事業名 **世界に繋がる海 IN 2016**



目次

| | |
|--|----|
| 1 NPO法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織 | 2 |
| 2 事業名「世界に繋がる海 IN 2016」 | |
| 活動計画 | 3 |
| 活動報告 | |
| 参加者募集と参加者 | 4 |
| 活動その① 伊勢志摩サミット会場の賢島と英虞湾の見学 | 5 |
| 活動その② 鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学 | 8 |
| 活動その③ 名古屋港でコンテナヤードと大型フェリーの見学 | 12 |
| 活動その④ もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話 | 16 |
| アンケートの集計 | 19 |
| 配布資料 | 24 |
| 募集ポスター、広報紙・新聞等、インターネットで募集記事、活動紹介記事など | 25 |
| 3 その他の活動 | 28 |
| 4 活動準備など | 30 |
| 5 収支報告 | 31 |
| 6 2017年度の活動計画 | 32 |
| 7 主催者の感想と反省など | 33 |

1. NPO法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織

目的 定款で以下のように定めています。

第3条 この法人は、主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

事業 定款で以下のように定めています。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。

特定非営利活動に係る事業

- ① 故郷の海を愛する心を育てる事業
- ② 海や船に親しむ活動の推進事業
- ③ 世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業
- ④ 郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらう事業
- ⑤ その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパブログを参照ください。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442#basicinfo>

組織 役員名簿

| 役職名称 | 氏名 | 常勤/非常勤 | 職業 | 報酬の有無 |
|---------|--------|--------|-------|-------|
| 理事(会長) | 川口 心也 | 非常勤 | 無職 | 無 |
| 理事(副会長) | 三井 建次 | 非常勤 | 無職 | 無 |
| 理事(副会長) | 江崎 隆夫 | 非常勤 | 会社社長 | 無 |
| 理事(会計) | 畑 辰幸 | 非常勤 | 水先案内人 | 無 |
| 理事 | 古川 昭一 | 非常勤 | 無職 | 無 |
| 理事 | 水野 逸夫 | 非常勤 | 学校教員 | 無 |
| 理事 | 永井 功 | 非常勤 | 無職 | 無 |
| 理事 | 溝井 昇 | 非常勤 | 団体職員 | 無 |
| 理事 | 山口 伸輔 | 非常勤 | 会社社長 | 無 |
| 理事 | 西山 明 | 非常勤 | 無職 | 無 |
| 監事 | 武部 二三男 | 非常勤 | 無職 | 無 |

(会員数)

2017年1月時点での正会員数は個人99名と3団体。賛助会員数は15名となっています。

2. 事業名「世界に繋がる海 IN 2016」

活動計画

事業目的 主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し、『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もって子供たちの健全な育成に寄与することを目的とする。

事業目標 地域の小中学生が活動を通して世界につながる船や海を体験し、海と人との共生をめざし、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する知識・気持ちを持つようになる。

事業計画 年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・三重県教育委員会近隣市町自治体(鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町)及び近隣市町教育委員会(鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・津市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町)等の後援を得て参加者募集を行う。国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」等学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施する。日本海事センター、全日本海員組合、日本中小型造船工業会からの助成を得て事業を実施する。

当初計画は以下の通り。

活動その① 伊勢志摩サミット会場の賢島と英虞湾の見学

伊勢志摩サミットが開催された志摩の賢島・英虞湾を船上から見て、午後はカッターやカヌー体験。
募集:50名 場所:鳥羽～志摩半島 時期:7月上旬 協力:南勢海洋少年団

活動その② 鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学

鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」での伊勢湾体験航海で船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク等を体験。加えて津市のJMU造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。
募集:50名 場所:伊勢湾及び津市 時期:7月下旬 協力:鳥羽商船高専並びにJMU

活動その③ 名古屋港でコンテナヤードと大型フェリーの見学

バスで名古屋に移動し、名古屋港の飛鳥コンテナ埠頭の見学と停泊中の大型フェリーの見学。
募集:90名 場所:鳥羽～名古屋 時期:8月下旬 協力:飛鳥コンテナ埠頭、太平洋フェリー

活動その④ もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、操船シミュレータで模擬操船体験や大型機関の発停を体験。他にコンピュータ・プログラム・ロボットなどの講演を聞き、ロボットやアプリの体験。
募集:50名 場所:鳥羽商船高専校内 時期:12月下旬 協力:鳥羽商船高専

募集 募集対象を三重県の津市以南の小中学生5,6年生と中学1,2年生とする。
対象学校毎にポスターを、対象の子供達にリーフレットを用意する。
各市町の広報紙に募集広告を掲載依頼。中部運輸局にプレスリリースの協力依頼。

参加費 活動その①②③については¥1000、その④は無料とする。

活動報告

参加者募集 活動その①②③について、三重県の津市を含む中南勢地区の各市町の教育委員会の後援を得て、当該地区の小中学校に募集のポスター、対象の子供達にリーフレットを配布して頂きました。又、各市町の広報紙に募集記事を掲載して頂きました。加えて、中部運輸局にも後援をお願いしました。他にも会員がポスター配布、ピラ配りをして参加者の募集を行いました。募集のポスターに関してはA2サイズで500枚印刷しました。リーフレットはA4サイズで26000枚印刷しました。対象地区の小中学校数は合計で220校あり、以下の通りです。

| | 中学校 | | | 小学校 | | | 合計 |
|------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|--------|
| | 校数 | クラス | 1・2年生徒 | 校数 | クラス | 5・6年生徒 | |
| 伊勢市 | 12 | 76 | 2,262 | 24 | 86 | 2,266 | 4,428 |
| 鳥羽市 | 5 | 15 | 322 | 9 | 20 | 288 | 610 |
| 志摩市 | 7 | 30 | 829 | 15 | 39 | 707 | 1,536 |
| 松阪市 | 11 | 85 | 2,715 | 36 | 121 | 2,919 | 5,634 |
| 明和町 | 1 | 13 | 447 | 6 | 18 | 419 | 866 |
| 玉城町 | 1 | 10 | 320 | 4 | 14 | 322 | 642 |
| 多気町 | 2 | 12 | 333 | 5 | 14 | 275 | 608 |
| 度会町 | 1 | 6 | 167 | 1 | 4 | 128 | 295 |
| 南伊勢町 | 2 | 6 | 141 | 3 | 7 | 114 | 255 |
| 津市 | 22 | 145 | 4,470 | 53 | 197 | 4,883 | 9,353 |
| 合計 | 64 | 398 | 12,006 | 156 | 520 | 12,221 | 24,227 |

活動その④について、同様に三重県の津市を含む中南勢地区の各市町の教育委員会の後援を得て、各市町の広報紙に募集記事を掲載して頂きました。又、今期の活動に参加した子供達に招待状を配布し参加者の募集を行いました。

参加者 「世界に繋がる海 IN 2016」の4件の活動の延参加者は以下の通りです。

| | 伊勢市 | | 鳥羽市 | | 志摩市 | | 南伊勢町 | | 津市 | | 松阪市 | | 明和町 | | 玉城町 | | 多気町 | | 度会町 | | 他 | | 合計 | |
|---------|-----|----|-----|---|-----|---|------|---|----|----|-----|----|-----|---|-----|---|-----|---|-----|----|----|----|-----|-----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 小学4年以下 | 1 | 2 | | | | | 2 | | | | 3 | | | | 1 | 7 | 2 | | | 10 | 4 | 20 | 12 | |
| 小学5年 | 22 | 10 | 4 | 3 | 3 | 3 | 9 | 4 | 18 | 15 | 12 | 19 | 6 | 2 | | 3 | 2 | | | 1 | 1 | 77 | 60 | |
| 小学6年 | 12 | 14 | 1 | 6 | 7 | | 2 | | 15 | 7 | 5 | 5 | 1 | 1 | 2 | | | | | 1 | | 46 | 33 | |
| 中学1年 | | 5 | | | | | 1 | 1 | 4 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 2 | 11 |
| 中学2年 | 2 | | | | | | 1 | | 3 | | 2 | 3 | | | | | | | | 4 | | 11 | 4 | |
| 中学3年 | | 2 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 3 |
| 高校1年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 | 0 | |
| 合計(男女別) | 37 | 33 | 5 | 9 | 10 | 4 | 13 | 6 | 37 | 26 | 19 | 31 | 7 | 3 | 3 | 4 | 9 | 2 | 0 | 0 | 18 | 5 | 158 | 123 |
| 合計 | 70 | | 14 | | 14 | | 19 | | 63 | | 50 | | 10 | | 7 | | 11 | | 0 | | 23 | | 281 | |

個々の活動の参加者数については

| | | |
|-------|--------|-----------------|
| 活動その① | 募集50名 | 参加者子供74名 |
| 活動その② | 募集50名 | 参加者子供52名 |
| 活動その③ | 募集90名 | 参加者子供110名 |
| 活動その④ | 募集50名 | 参加者子供45名 |
| 合計 | 募集240名 | 参加者子供281名(延べ人数) |

活動その① 伊勢志摩サミット会場の賢島と英虞湾の見学 7月2日実施

今年の活動への参加者募集はその①を7月2日に計画した為、従来より約一月早く6月1日から開始しました。活動その①、②、③を同時に募集しました。各市の広報紙への募集記事掲載や各小中学校へのポスターやビラの配布はほぼ従来通りの内容で行ったのですが、予想をはるかに超える早さと応募者数で、早々と活動その①のみならず活動その②、その③も募集締切となり、嬉しい悲鳴でした。

当初は参加者を小中学生50名で計画していましたが、あまりにも応募者が多いので、受け入れ参加者数を増やしました。バスを2台手配し、最終的に74名の小中学生の参加となりました。

申し訳なかったのですが、それでも、数多くの方々にお断りを入れています。

主催者側(大人)は海洋少年団の人達も含めて36名の参加となりました。

当日のスケジュールは以下の通りでした。

08:30 受付開始 順次班分けする。5班に分ける。 場所:鳥羽バスターミナル
 09:00 集合時間
 09:10 バス乗車、賢島に出発・移動 25km
 10:00 賢島到着 現地集合の参加者(南勢海洋少年団・四日市海洋少年団)と合流。
 10:20 エスパーニャ乗船
 10:30 エスパーニャ出港 志摩マリンレジャー(株) 英虞湾周遊、真珠モデル工場見学
 11:20 エスパーニャ入港
 11:30 バスに乗車 五ヶ所へ移動 15km
 12:00 五ヶ所(南伊勢町下津浦生活改善センター)に到着 下車 昼食
 12:50 下津浦から五ヶ所漁協前にバスで移動
 13:00 南勢海洋少年団と四日市海洋少年団の協力を得て、カッター体験など

| | A班 | B班 | C班 | D班 | E班 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 13:10～ | カッター体験 | アンケート記入等 | 結索体験 | カヌー体験 | 手旗信号体験 |
| 13:45～ | 手旗信号体験 | カッター体験 | アンケート記入等 | 結索体験 | カヌー体験 |
| 14:20～ | カヌー体験 | 手旗信号体験 | カッター体験 | アンケート記入等 | 結索体験 |
| 14:55～ | 結索体験 | カヌー体験 | 手旗信号体験 | カッター体験 | アンケート記入等 |
| 15:30～ | アンケート記入等 | 結索体験 | カヌー体験 | 手旗信号体験 | カッター体験 |

16:10 終わりの挨拶 鳥羽に向け出発 現地集合組は五ヶ所で解散

17:00 鳥羽に到着 簡単に終わりの挨拶 解散

活動当日は真夏を思わせるような暑い一日となりました。しかし、参加者全員が元気に楽しく活動を終えることができ、喜んでいきます。

午前中は英虞湾クルーズを楽しみました。途中、伊勢志摩サミットの会場となった賢島のホテルも眺めました。真珠の加工工場も見学しました。



バス2台で鳥羽から賢島に到着



英虞湾遊覧船に乗船



英虞湾周遊



真珠加工工場見学

伊勢志摩サミット 2016年5月26・27日

日本の美しい自然 豊かな文化、伝統
日本の故郷の情景 大小の島々、美しい入り江
日本の精神性に触れて頂ける場所
三重県ならではの「おもてなし」で、世界の皆様をお迎えいたしました。



午後は、南勢海洋少年団と四日市海洋少年団の協力を得て、いろいろな体験活動をしました。カッター体験は小学生にはオールが重く難しかったようです。それでも海洋少年団の指導の下、懸命に漕いでいました。カヌー体験は、子供たちは濡れながらもとても楽しそうでした。これほど興味を示すとは意外でした。手旗信号やロープの結び方体験も子供たちは大いに楽しみました。海上でのカッターやカヌーの体験の際には2艇の救助艇(警戒艇)を常時配置し、主催者側の夫々2名が乗船して監視・警戒に当たりました。カヌーは転覆しにくいカヌーでしたが、上下艇の際には特に気をつけました。ポンツーンから直接のカヌーへの上下艇には安全上心配があったので、ポンツーンに警戒艇を1艇横付けし、その警戒艇にカヌーを接舷させ、警戒艇から上下艇するようにしました。結果として、誰一人として海中に転落すること無く、怪我もすること無く、無事の体験となりました。



みんなで一緒に昼食



午後はカッター体験 2艇で



カヌー体験 6艇で



手旗信号体験



ロープの結び方体験



アンケート記入

活動その② 鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学 7月22日実施

活動その①と同様に多数の応募者があり、受け入れ員数を増やしました。65名の参加者を予定していましたが、思った以上のキャンセルがあり、当日集合したのは52名となりました。

主催者側(大人)はボランティア2名、ゲスト参加の1名を含め16名となりました。

今までより多くの応募者があったのは、募集開始を6月初めにした事と共に、集合場所を従来は鳥羽の1か所であったのを津の造船所と鳥羽の2か所にした事によると考えています。

今回、23名が鳥羽で、29名が津で集合となりました。

梅雨が明けて直ぐの開催でしたが、鳥羽からバスで津に移動中はあいにくの雨でした。しかし、津の造船所に到着したころから雨は上がり、特別暑くもない一日となりました。

当日のスケジュールは以下の通りです。

- 08:00 鳥羽商船高専で受付開始
 08:30 集合時間
 08:40 鳥羽商船高専からバス1台で出発(時間厳守) 09:00 鳥羽丸出港 乗組員のみ
 09:50 現地参加者 集合時刻 (09:20頃から参加者受付) バス1台は造船所で待機
 主催者3~4名ほど、集合場所で待機、受付など
 10:00 鳥羽からのバス1台、JMU到着 45.3km 80分 バス2台が造船所内に入る
 10:10 造船所会議室へ移動。造船所の紹介と勉強・体験会
 船が浮く話、LNG船関連の話をして頂く。体験は鉄の重さ体験。
 11:10 バス2台で構内見学 11:30 鳥羽丸 造船所ポンツーンに接舷
 12:00 造船所会議室で昼食
 13:00 バスで鳥羽丸の接舷場所に移動・乗船、その後、鳥羽丸出港。
 出港後すぐ、救命設備の説明を受ける。航海の中ほどで大型船の伊勢湾航行を視察する。
 中部国際空港に離着陸する飛行機も近くに見えるはず。

| | A班 | B班 | C班 | D班 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|
| 13:15~13:45 | 船橋見学 | 機関制御室見学 | 結索体験 | 船内見学他 |
| 13:45~14:15 | 機関制御室見学 | 結索体験 | 船内見学他 | 船橋見学 |
| 14:15~14:45 | 結索体験 | 船内見学他 | 船橋見学 | 機関制御室見学 |
| 14:45~15:15 | 船内見学他 | 船橋見学 | 機関制御室見学 | 結索体験 |

- 16:30 鳥羽市の鳥羽商船高専岸壁に到着 乗組員に感謝を伝え、商船高専に徒歩で移動。
 17:00 終りの話をして 解散

JMU津造船所では会議室で造船所の概要をビデオで学び、重い鉄が何故浮くのか、建造中のLNG船のLNGとは何かなど、説明して頂きました。用意された鉄のピースを持ち上げ、その重さを体感しました。その後、バス2台に分乗し、造船所の構内を巡り、船の建造工程を見学しました。

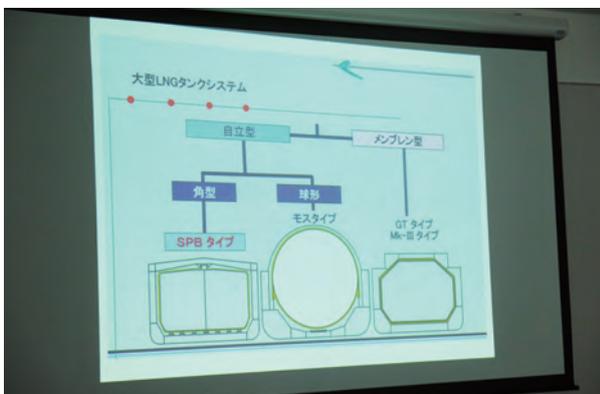
建造ドックではバスから下車し、建造途中のLNG船をまじかに見ました。大きすぎてびっくりしたようです。構内見学後、会議室に戻り、昼食を取り、又、バスに乗り、構内のポンツーンに接舷中の鳥羽商船高専の練習船に乗りました。



鳥羽発のバスで近藤真琴の話



JMU造船所で造船所の説明など



建造中のLNG船の構造など



重い鉄がなぜ水に浮かぶか勉強



重い鉄を持ち上げて重さを体感
鉄は水の約8倍の重さです。



2台のバスでドックの構内を見学



建造ドックのゲートで新造船見学



みんなで一緒に記念撮影



移動用バス2台



鳥羽丸に乗船 体験航海へ



救命用具の使用説明



機関制御室で機関長の話 色々

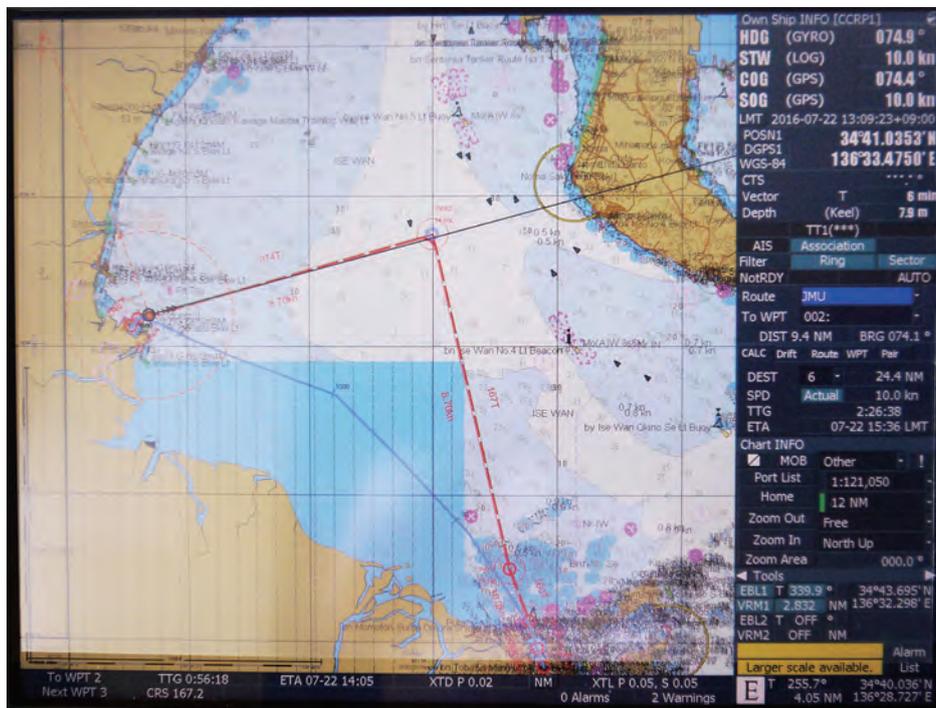


船橋内で機器の説明



ロープの結び方体験

練習船で伊勢湾を約3時間の体験航海となりました。初め進路を東に取り、伊勢湾を航行する大型船を近くで見ようとしたのですが、残念ながら大型船に遭遇せず、その後、鳥羽に向かいました。



津を出港して船が揺れ出すとともに、気分が悪くなる子供が続出、多くの子供が船酔いにかかりました。二見の沖辺りから海が静かになり、子供達も全員、元気が回復しましたが、子供達にとっては船に酔うことは、初めての人も多く、戸惑い、心配した事でしょう。毎回、子供達にアンケートを記入してもらいますが、今回は船酔いで気分の悪い人が多く、記入・提出したのは6割程度でした。いかに多くの子供が船酔いにかかったかですね。船や海に親しんでもらおうと、活動を続けていますが、船酔いを経験して、もうこりごりだと感じた子供もいたかも知れません。



前方視界よし



イルカが見えるー？

活動その③ 名古屋港でコンテナヤードと大型フェリーの見学 8月23日実施

活動その③への応募はその①、その②と同様に多数の応募があり、受け入れ員数を増やしました。当初の計画では90名でしたが、最終的に、参加者は110名となりました。

主催者側(大人)はボランティア10名、四日市海洋少年団8名を含め30名となりました。

活動その③はキャンセル待ちが40名を超えるほどの人気でしたので、バスの定員を考えながら、最大限の参加者となるように調整しました。その結果として、鳥羽と津の2か所で集合しましたが、バスは補助席も使い、ほぼ満員での乗車となりました。

台風が9号、10号、11号と続いて近づき、予定した23日の実施を危ぶみましたが、台風の影響も限られ、関係先の協力も得られ、なんとか予定通りに実施できました。

当日のスケジュールは以下の通りです。

- 08:00 受付開始 (鳥羽商船高専、正門をはいった広場にて)
 08:30 集合。3班に分け1台のバスに乗車
 08:45 出発 高速道路経由。 09:00 津新町集合組 津新町で集合、3班に分ける
 09:15 バスに乗車 高速道へ、安濃SAへ
 09:45～09:55 安濃SAにてトイレ休憩 (別の1台と合流)
 10:45 飛鳥コンテナヤードに到着 バスを下車。A,B,C組に分かれ以下に沿い行動
 各25分間。最初にB組がバス下車、5F屋上へ。続いてA組が5Fレセプション室へ
 遅れが無いように注意する。C組はバスから下りず、そのまま構内巡回見学する。

| | A組 | B組 | C組 |
|--------|---|---|---|
| 10:45～ | 5階レセプション室 TCB説明 | 5階屋上展望説明 B1班 4階遠隔操縦室 B2班 B1とB2は途中交代 | バス1台 構内巡回見学 |
| 11:10～ | 5階屋上展望説明 A1班 4階遠隔操縦室 A2班 A1とA2は途中交代 | バス1台 構内巡回見学 | 5階レセプション室 TCB説明 |
| 11:35～ | バス1台 構内巡回見学 | 5階レセプション室 TCB説明 | 5階屋上展望説明 C1班 4階遠隔操縦室 C2班 C1とC2は途中交代 |

- 12:10 飛鳥コンテナヤード出発
 12:20 名古屋港フェリーターミナルに到着。バスを下車し、フェリー「いしかり」に乗船
 12:30 船内で昼食。カレーライス、フリードリンク、デザート付き。
 13:30 スケジュールに沿い、船橋・客室など船内見学。太平洋フェリーの3名が案内。
 13:30 全員ラウンジに移動、いしかり進水式DVD観賞
 13:45 船・海に関する質疑応答 子供達が質問する。
 14:00 船内見学 5デッキ→6デッキ→7デッキ→外部デッキ→船橋→6デッキ
 14:30 船内売店開店 各グループ毎10分間程度で交代 休憩は6デッキで。
 各グループ毎に集合写真撮影する。

15:10 6デッキに全員集合、確認後、5デッキ乗船口から下船
15:20 バスに乗車、津・鳥羽に向け出発 高速道路経由。
16:20 ~16:30 安濃SAにてトイレ休憩 16:50 津新町組 津新町で解散
17:30 鳥羽商船高専到着
17:40 子どもたち解散
18:00 子どもたち全員が帰った事を確認、主催者解散。

あいにく、台風の影響で接岸しているはずの2隻のコンテナ船が不在でした。その為に荷役も行われておらず、誠に残念でしたが、構内には数多くのコンテナが置かれており、遠隔操作でのコンテナの移動の様子を見ることが出来ました。屋上での見学の際はボランティア参加の水先案内人がコンテナ船について説明してくれました。

その後、名古屋港のフェリーターミナルでは接岸中の太平洋フェリーの「いしかり」に乗船して、おいしい昼食を取ったのち、3組に分かれ船橋や客室など、船内見学をしました。本船の進水式の様子を記録したビデオも観せてもらいました。船長への質問時間もありません。



鳥羽商船高専から出発



往きのバス車中で予習



飛鳥コンテナ埠頭で貿易の話等



屋上で構内の説明を受けました。



パイロットの説明もありました。



遠隔操縦室の見学



構内をバスで見学



A組 集合写真



移動中に「いしかり」が見えてきました



船上でおいしい昼食です



船内でこんな時も



ビデオ上映前のお話です



進水式のビデオ鑑賞



船内見学



船橋の見学



B組 集合写真



C組 集合写真



四日市海洋少年団が見送ってくれました

往復のバス車中でいくつかのビデオを上映しました。

「海の上のプロフェッショナル」「暮らしを支える日本の海運」

「ひかる海 活躍する内航船」

「いつか、太洋を航海する日」

日本船主協会

日本内航海運組合総連合会

鳥羽商船高専 商船学科

画像の処理の仕方を学びました。子供たちはみんな大変興味深く聞いていました。お昼はお弁当を頂き、少し早いクリスマス気分で、ケーキを頂き、ビンゴゲームを楽しみました。景品もあり、ワクワクして楽しんでくれたと思います。

午後のチャレンジ体験コーナーでは4班に分かれ、それぞれの体験を楽しみました。活動の最後には全員がアンケートに記入して、鳥羽商船高専の副校長石田さんの話がありました。

当日の活動の様子を以下に紹介します。



滋野さんの ウミガメの話



自然を守る大切さ



塩野さんの 近藤真琴の話



みんなで昼食です



ビンゴゲームの景品、どれにしようか?



近藤真琴記念碑前で集合写真



中井先生の 画像処理の話です



エンジンの出力調整体験です。



エンジンの音が大きくて…



操船シュミレータで船長さんです。



ICTツールを使ってみよう。



ロボット体験



鳥羽商船高専の副校長先生の話

アンケートの集計 活動その①

参加者全員74名中71名が書いてくれました。それを以下の通りまとめました。

- Q1** どこから参加したか？ **A** 伊勢市21名 津市14名 松阪市12名 多気町6名等
- Q2** 学年と性別は？ **A** 小学5・6年生52名 中学生9名等 男子35名 女子26名
- Q3** イベントを何で知った？ **A** 学校 12 7 8 (海洋少年団等)
TV 1 1 12 7 8 (海洋少年団等)
新聞 1 1 12 7 8 (海洋少年団等)
広報紙 34 1 1 12 7 8 (海洋少年団等)
広報紙での情報入手が多くなりました。
- Q4** 誰が参加を決めたか？ **A** 自分 34 28 1 10 6 (海洋少年団等)
親 28 1 10 6 (海洋少年団等)
先生 1 10 6 (海洋少年団等)
友達 10 6 (海洋少年団等)
その他 6 (海洋少年団等)
複数回答あり。親が決めたケースが増えました。
- Q5** 集合場所には何で来ましたか？ **A** JR 1 14 52 3
近鉄 14 52 3
自家用車 52 3
その他 3
集合場所は鳥羽駅の近くでした。多くの人が車で集合でした。
- Q6** 何を一番の楽しみに？ **A** 英虞湾クルーズ 17 13 47 4(景色)
カッター体験 13 47 4(景色)
カヌー体験 47 4(景色)
他 4(景色)
意外だったのがカヌー体験を楽しみにして参加した子供の多さです。
- Q7** 英虞湾クルーズの印象は **A** とっても良かった 41 22 7 2
良かった 22 7 2
まあまあ普通 7 2
良くなかった 2
ととても良かった 景色がきれいだった11名 船が速く涼しかった7名
良かった 楽しかった5名 船が大きく速い4名 船がおしゃれ4名 等
- Q8** 真珠加工工場の見学は **A** ととても良かった 23 33 13 1
良かった 33 13 1
まあまあ普通 13 1
良くなかった 1
ととても良かった 真珠がきれい7名 色々と分かった5名
良かった 真珠の事を知った9名 真珠がきれい6名
- Q9** 英虞湾の海はきれいと感じましたか **A** 「はい」62名 「いいえ」8名
多くの子供がきれいと感じたようです。
- Q10** 真珠のいかだを知っていましたか **A** 「はい」35名 「いいえ」35名
約半数の子供が知っていました。
- Q11** 賢島や英虞湾に来たことがある **A** 「はい」41名 「いいえ」29名
約6割程度の子供が以前に来たことがあったようです。
- Q12** 午後の体験活動で何が楽しかった **A** カヌー 49 21 11 19
カッター 21 11 19
手旗信号 11 19
ロープの結び方 19
カヌー体験が楽しかったようです。
- Q13** 又、やってみたいですか **A** 「はい」58名 「いいえ」9名
とても楽しかったようですね。
- Q14** 海洋少年団を知っていましたか **A** 「はい」17名 「いいえ」53名
多くの子供が海洋少年団の事を知らなかったようです。
- Q15** 故郷の海を愛する会を知っていましたか **A** 「はい」24名 「いいえ」44名
まだまだ知名度が低いですね。
- Q16** 今後、このような活動に参加したい **A** 「はい」64名 「いいえ」7名

- うれしいですね。
- Q17 「いいえ」と書いた理由は
- A 時間が無い(小5男) めんどう2名(小5男)
土曜日は習い事で忙しい(小6男) 部活で忙しい(小5)等
- Q18 新しい友達が出来ましたか
- A 「はい」49名 「いいえ」18名
多くの子供が新しい友達が出来たようで、うれしいです。
- Q19 今日、他校の人やボランティアと話をしましたか
- A 「はい」55名 「いいえ」11名
もっと他の人と話をしたいですね。
- どんな話をしましたか
- 自己紹介 ロープの結び方 いろいろ 船や海の事
ご飯がおいしい 楽しい 学校のこと 今日の感想 など
- Q20 今日の印象は
- A 楽しかった 又、参加したい 40名 カヌーが楽しかった 5名
こんな体験はあまりできないのでとても楽しかった 3名
初めて体験して良かった 説明がすごく良かった 各2名
海がきれい お尻がカヌー体験で濡れた 疲れた

活動その②

参加者52名 回答あり33名でした。船酔いで書けない子が多く居ました。

- Q1 どこから参加ですか
- A 津市10名 伊勢市7名 松阪市4名 鳥羽市2名 明和町2名等
- Q2 学年と性別は
- A 小学5・6年生26名 中学生4名 他 男子18名 女子12名
- Q3 イベントを何で知りましたか
- A 学校 TV 新聞 広報紙 知人など その他
16 0 1 8 4 2
- Q4 誰が参加を決めましたか
- A 自分 親 先生 友達 その他
23 13 0 3 1 (おばあちゃん)
- Q5 集合場所には誰と来ましたか
- A 自分ひとり 友達 保護者 知人
1 7 24 2
- Q6 何を一番楽しみにして来ましたか
- A 造船所見学13名 体験航海21名
- Q7 津のJMU造船所で何が楽しかった
- A 昼食 ビデオ説明 構内見学 その他
9 4 22
- Q8 造船所で一番びっくりした事は
- A 船の大きさ12名 思っていたより広がった3名
船をバラバラで作る事 細かい造りと工夫 とても大きいプロペラ
ガスを冷やすと液体になる事 船が重いのに浮くこと 等
- Q9 どうして水よりも重い鉄でできた船が浮かぶのでしょうか
- A 船の重さよりも浮力の方が大きいから等 4名
水に対する面積が大きいほど浮きやすくなる 4名
鉄の体積が増えることで水に触れる鉄の面積が大きくなることによる
水が船の中には行って来ないから
わからない 8名
なかなか難しい質問の様です。造船所の方に説明してもらったのですが。
- Q10 造船所で作っているLNG船のLNGとは
- A 液化天然ガス 7名 燃料 ガス 安全なガス 等
わからないとかいた人7名いました。
これも造船所の方に説明してもらったのですが。
- Q11 鳥羽丸で何が楽しかった?
- A 操舵室見学 機関制御室見学 ロープワーク 船内見学
8 4 9 13

- Q12** 鳥羽丸でびっくりした事 **A** こんなに船が揺れるとは思わなかった 3名
ロープで色々な結び方があることを知りました
小さい船がたくさんの人を運べること
船が大きかった 思っていたより鳥羽丸が小さかった 遅かった
特にない人が5名いました。
- Q13** 鳥羽丸を後ろに進めるのはどうする
のでしょうか **A** プロペラを逆に回す13名 プロペラの羽根の向きを逆にする14名
機関長に話をしてもらったのですが…。
- Q14** 鳥羽商船高専を知っていたか? **A** 「はい」18名 「いいえ」12名
- Q15** 故郷の海を愛する会を知っていたか **A** 「はい」14名 「いいえ」16名
商船高専も 故郷の海を愛する会も未だ知名度が低いですね。
- Q16** 今後このような活動があったら参加したい **A** 「はい」27名 「いいえ」3名
うれしいですね。
- Q17** 「いいえ」とかいた人は何故 **A** 船酔いするから
違う活動もしてみたいから 思っていたのと違ったから
- Q18** 新しい友達が出来ましたか **A** 「はい」19名 「いいえ」9名
- Q19** 今日、他校の人やボランティアと話しましたか
どんな話をしましたか **A** 「はい」24名 「いいえ」5名
いろんな話3名 ゲームや船の事3名 学校のこと3名
海と船の関係 船から見る景色 海の話 など
- Q20** 今日の印象は **A** 楽しかった おもしろかった 8名
船酔い 風が強く船が揺れた 6名
船を作っているところを見ることが出来てよかった
友達ができてよかった

活動その③

参加者110名全員が回答してくれました。それを以下の通りまとめました。

- Q1** どこから参加ですか **A** 津市28名 松阪市20名 伊勢市18名 四日市13名 鳥羽市10名
明和町5名他
- Q2** 学年と性別は? **A** 小学5・6年生82名 中学生8名 男子51名 女子47名
- Q3** イベントを何で知った? **A** 学校 TV 新聞 広報紙 知人など その他 ?
74 0 0 11 10 10
- Q4** 誰が参加を決めたか? **A** 自分 親 先生 友達 その他
52 43 0 27 4
- Q5** 集合場所には誰と来ましたか **A** 自分ひとり 友達 保護者 知人
4 53 68 5
- Q6** 何を一番楽しみにしてきましたか **A** コンテナ埠頭8名 フェリー乗船102名
- Q7** コンテナ埠頭で何が楽しかった **A** ビデオ説明 構内見学 操作室見学 その他
27 32 59
- Q8** コンテナ埠頭でびっくりした事 **A** コンテナの移動が遠隔操作で出来る24名
コンテナ埠頭の敷地が広く、コンテナが一杯あった28名
クレーンゲームみたい6名
ユーフォーキャッチャーみたい3名

冷凍コンテナにハーゲンダッツがたくさん入っていた2名
 ガントリークレーンの操縦席が意外と高い3名
 ゾウがコンテナ埠頭に来て運ばれたこと

- Q9** コンテナ埠頭の仕事でやってみたいことは **A** 60名が「クレーン操作」と回答
- Q10** 接岸するコンテナ船で一番大きいのは何個積ですか **A** 8000～15000と答えたのが21名
大きすぎて子供たちには想像つきませんよね。
- Q11** 船にコンテナを揚げ積みするクレーンの高さは何メートル? **A** 40～50mと答えたが31名
- Q12** 外国に運ばれるコンテナの荷物は何かが多い? **A** 自動車部品と答えたのが42名 衣類が6名
正解は見学中に埠頭の人に話をしてもらっているのですが、岸壁にコンテナ船が係留されていなかったのがとても残念でした。
- Q13** フェリーで何が楽しかった **A** 昼食 47 ビデオ説明 6 操舵室見学 10 船内見学 38 その他 4
- Q14** フェリーでびっくりした事 **A** 船が大きくて、一杯部屋がある 24名 迷子になりそう 2名
とてもきれい 11名 とても豪華 9名 ホテルみたい5名
部屋が広い 4名 船内にお店・温泉が有ること 4名
ゲーム室がある 3名 船が揺れない 2名
カレーがおいしい、乗組員15名も必要、景色がきれい、
多くの人が乗れること、フェリーのしくみ、楽しそう
- Q15** フェリーで北海道から名古屋に運んでいるものは? **A** 人とか車と答えたのが23名 他に魚、野菜、果物、海産物
- Q16** 逆に、名古屋から北海道に運んでいるものは? **A** 同様に人とか車と回答が24名 他に機械、野菜
- Q17** 船の速力は約20ノットです。時速約何キロメートルでしょう **A** 何故か48～50kmと回答が38名 正解の36～40kmが19名
これらもフェリーの人に話をしてもらっているのですが…、なかなか。
- Q18** 故郷の海を愛する会を知っていましたか? **A** 「はい」31名 「いいえ」76名
- Q19** 今後、このような活動があったら参加したいですか? **A** 「はい」93名 「いいえ」14名
- Q20** 「いいえ」の理由は? **A** 船が動いてほしい。説明が難しい。特に船に興味が無いから。
話が長い、自由時間が少ない。人の命を預かるのはちょっと。
暇すぎて、することはゲームしかない。疲れた。
- Q21** 新しい友達が出来ましたか? **A** 「はい」45名 「いいえ」62名
- Q22** 今日、他校の人やボランティアの人と話をしましたか?
どんな話をしましたか? **A** 「はい」58名 「いいえ」43名
海や船の話8名 自己紹介5名 色々7名 土産の事4名
習い事の話2名 体力テスト2名 面白い話2名 等 …
- Q23** 今日の印象は? **A** とても楽しかった、又、来たい 38名
フェリーの昼食が良かった カレーや唐揚げがおいしかった 10名
フェリーが思っていたより大きかった 8名
船の事を色々知った 9名

フェリーのすごさがわかり楽しかった、船橋見学が良かった 7名
 新しい友達が出来た、いろんな人と交流が出来た 4名
 コンテナ埠頭の見学が良かった、クレーンが大きかった 4名
 海や船に興味はなかったけれど、興味を持てるようになった 2名
 ちびっこが多く遠足みたいだった 2名
 貴重な体験が出来た 1名 船長との質疑応答 1名

活動その④

参加者52名中41名が書いてくれました。それを以下の通りまとめました。

- Q1** どこから参加したか? **A** 伊勢市17名 松阪市10名 南伊勢町6名 玉城町3名 志摩市3名 津市2名
- Q2** 学年と性別は? **A** 小学5・6年生33名 小学4年以下3名 中学5名 男子20名 女子16名
- Q3** イベントを何で知った? **A** 招待状 新聞 広報紙 知人など その他 ?
 19 0 6 6 4
- Q4** 誰が参加を決めたか? **A** 自分 親 先生 友達 その他 ?
 24 18 1 3 2
- Q5** 何で来ましたか? **A** JR 近鉄 バス 乗用車 徒歩 その他
 0 3 0 38 0
- Q6** 講演で何が楽しかった? **A** 伊勢志摩国立公園 近藤真琴 画像処理のはじめの一步
 3 8 33
- Q7** 体験コーナーでは何が楽しかった? **A** ロボットやパズル遊び28名 操船体験8名 全て5名
- Q8** 今日、びっくりした事、エーと感じたこと。 **A** 画像処理のいろいろ8名 レーザーでカットするところ2名
 近藤真琴が商船学校を作った等、関連7名
 ロボットの大会に商船学校から出場していること2名
 エンジンを操作した事、音が大きかった事2名
 ウミガメの話2名 船が右側通行である事 伊勢志摩国立公園の話
 色でお寿司の識別ができる事
- Q9** 今日、他校の人やボランティアの人と話をしましたか? **A** 「はい」93名 「いいえ」14名
 どんな話をしましたか 体験コーナーの話4名 学校の話4名 自己紹介3名
 面白い話3名 サミットの話2名 船や海の話2名 画像処理の話
- Q10** 鳥羽商船高専を知っていましたか? **A** 「はい」32名 「いいえ」8名
- Q11** どんな学校とっていましたか? **A** 船の学校18名、ロボットの学校5名、難しい学校2名等
- Q12** 将来、入学したいと思いますか? **A** 「はい」18名 「いいえ」23名
- Q13** 入学したい人はどの学科がいい? **A** 商船学科6名、電子機械工学科14名、制御情報工学科2名
- Q14** 伊勢志摩国立公園と言えば何を思う? **A** 公園である5名 伊勢神宮4名 サミット5名
 ウミガメ4名 鳥羽市・志摩市3名 自然2名
 リアス式海岸 真珠 海 いいところ 等
- Q15** 伊勢湾にウミガメの産卵場所が有ること知っていた? **A** 「はい」14名 「いいえ」26名
- Q16** ウミガメの産卵の邪魔になるものは? **A** ごみ7名 外灯や灯り5名 ネコや鳥6名 人間2名
 土 動物 かに 等

- Q17 近藤真琴が商船学校の創立者であること知っていたか? A 「はい」17名 「いいえ」24名
- Q18 記念碑の文字は勝海舟が書いたこと知っていたか? A 「はい」19名 「いいえ」20名
- Q19 今日、新しい友達が出来ましたか? A 「はい」27名 「いいえ」13名
- Q20 今後、このような活動に参加したいですか? A 「はい」37名 「いいえ」2名

・配布資料など

参加した子供達に以下の参考資料等を配布しました。

| 名前 | 提供・発行 |
|--------------------------------------|--------------|
| ・船ってサイコー | 日本船主協会 |
| ・海の上のプロフェッショナル | 日本船主協会 |
| ・日本の海運 SHIPPING NOW 2015-2016 | 日本船主協会 |
| ・ぼくとわたしのSHIP GUIDE | 日本船主協会 |
| ・船員さんのひみつ | 全日本海員組合 |
| ・船長・機関長になるには | 全日本海員組合 |
| ・やっぱり海が好き | 全日本海員組合 |
| ・船の誕生 ～船ができるまで～ | 日本中小型造船工業会 |
| ・造船業は日本の生命線 | 日本造船工業会 |
| ・JMU津事業所案内 | JMU |
| ・竣工船紹介はがき | JMU |
| ・What is 内航海運? | 日本内航海運組合総連合会 |
| ・船のお仕事チェック | 日本海事広報協会 |
| ・自動化コンテナターミナルFor the Next Generation | 飛島コンテナ埠頭 |
| ・おっきなフェリーで楽しい船旅 | 太平洋フェリー |
| ・ようこそなごやこうへ 2016-2017 | 名古屋港管理組合 |
| ・いっしょにやろうよ 海洋少年団 | 日本海洋少年団連盟 |
| ・楽しく学ぼう船のしくみ | 伊勢湾フェリー |
| ・2016年カレンダー | 伊勢湾フェリー |
| ・ペーパークラフト | 伊勢湾フェリー |
| ・鳥羽離島ガイドブック | 鳥羽市 |

世界に繋がる海IN2016
第1回イベント「伊勢志摩サミットの賢島・英虞湾を船から見学」
 日 7月2日(土)9時～17時 場 賢島、英虞湾ほか ※三重交通 烏羽バスセンター集合 内 英虞湾クルーズ、カヌー・カッター体験 対 小学5年～中学生 定 50人 費 1,000円(昼食、飲料水、保険代を含む)
 甲 6月7日(火)～30日(木)にファクスまたはEメールで故郷の海を愛する会(☎0599-25-8128、✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp)へ
 問 同会イベント事務局(☎0599-25-8045)

広報つ 3件

世界に繋がる海 IN2016
 伊勢志摩サミット会場の賢島・英虞湾を船から見学し、カヌーやカッターを体験します。
 ●とき 7月2日(土)午前9時～午後5時
 ●集合場所 三重交通烏羽バスターミナル(鳥羽市)
 ●対象 主として小学校5・6年生、中学生
 ●定員 50人
 ●参加費 1,000円(昼食、飲料水、保険付)
 ●締切日 6月30日(木)
 ●申込方法 FAXまたはEメール
 【問・申】 NPO法人 故郷の海を愛する会
 ☎0599-25-8045 ✉0599-25-8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp

広報まつさか 2件

世界に繋がる海 IN2016
 鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学
 NPO法人 故郷の海を愛する会
 (☎0599-25-8045 ☎0599-25-8128)
 日 7月22日(金)、8:45～17:00
 場 JMU津造船所(津市)～伊勢湾(鳥羽市) [集合場所: 鳥羽商船高専または JMU津造船所]
 対 小学5年生～中学生
 内 JMU津造船所で大型船の建造を見学し、その後、造船所から鳥羽商船高専の練習船に乗って伊勢湾を体験航海し、世界につながる大きな船を間近に見ます。
 定 50人 (先着順)
 費 1,000円 (昼食・飲み物・保険代を含む)
 甲 7月20日(木)までに、ファクス・Eメール (✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp) で同会へ
 ※市内の各小・中学校に募集案内を配布します。

広報いせ 3件

NPO法人 故郷の海を愛する会
世界に繋がる海IN2016
 第二回イベント 鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学
 ●とき 7月22日(金) 8時45分～17時
 ●集合場所 津市 JMU津造船所、伊勢湾(津市) 鳥羽市
 ●集合場所 鳥羽商船高専 8時45分
 ●もしくは JMU造船所 9時50分
 ●対象 主として小学5・6年生、中学生
 ●定員 50人 (先着順)
 ●参加費 1,000円 (昼食、飲料水、保険付)
 ●申し込み (☎0599)25-8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp
 申込締切 7月20日(水)
 問い合わせ 故郷の海を愛する会イベント事務局 (☎0599)25-8045

広報しま 3件

世界に繋がる海IN2016
 NPO法人 故郷の海を愛する会
 とき 12月10日(土)
 午前10時～午後3時30分
 場 鳥羽商船高等専門学校
 対象 小学5・6年生、中学生
 内容 船や海の話の聞き、商船学校の探船シミュレーターで大型船の探船体験やエンジンの発停を体験します。
 定員 50人
 参加費 無料 (昼食、飲料水、保険付き)
 申込方法 ファクスまたはメールで申し込んでください。
 申し込み 8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp
 申込期限 12月8日(木)

広報とば 2件

NPO法人 故郷の海を愛する会 世界に繋がる海IN2016
 第2回イベント 鳥羽商船高専の練習船に乗って体験航海と造船所見学
 日 7月22日(金) 午前8時45分～午後5時
 場 活動場所: 津市 JMU造船所、伊勢湾(津市) 鳥羽市
 集合場所: 鳥羽市 鳥羽商船高専 (8時45分) もしくは津市 JMU造船所 (9時50分)
 ※参加者は都合のいい方を選択する。解航は全員、鳥羽市 鳥羽商船高専。
 対 主として小学5・6年生、中学生
 内 津市のJMU造船所で大型船の建造を見学。その後、造船所から鳥羽商船高専の練習船に乗って伊勢湾を体験航海し、世界につながる大きな船を間近に見る。
 定員 50人 (先着順)
 参加費 ¥1,000 (昼食、飲料水、保険付)
 申込 ☎0599-25-8128 E-mail:umiwoaisurukai@yahoo.co.jp
 締切 7月20日(水)
 ※募集のパンフレットを市内各小中学校に配布します。お問合せは「故郷の海を愛する会 イベント事務局」(☎0599-25-8045)へ
 ※活動へのボランティアと故郷の海を愛する会の会員も募集しています。

広報めいわ 3件

NPO法人 故郷の海を愛する会
世界に繋がる海 IN 2016第4回イベントを開催
 船や海の話の聞き、大型船の探船体験やエンジンの発停を体験します。
 日 12月10日(土)
 午前10時～午後3時30分
 場 鳥羽商船高等専門学校 (鳥羽市池上町1-1)
 対 小学5・6年生、中学生
 定員 50名
 参加費 無料 (昼食、飲料水、保険付)
 申し込み 12月8日(木)までに、ファクス(☎0599(25)8128)または、メール(✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp)で申込み
 故郷の海を愛する会 イベント事務局 ☎0599(25)8045

広報たまき 2件

伊勢志摩サミットの賢島・英虞湾を船から見学
 英虞湾クルーズで英虞湾を菜しみ、午後はカヌーやカッター体験をします。
 ●とき 7月2日(土) 9時から17時まで
 ●集合場所 三重交通烏羽バスターミナル
 ●対象 小学5・6年生、中学生
 ●定員 50名
 ●参加費 1,000円 (昼食・飲料水・保険付)
 ●申込締切 6月30日(木)
 ※募集のパンフレットを町内各小中学校へ配布します。
 問い合わせ先 NPO法人 故郷の海を愛する会
 ☎0599-25-8045
 ☎0599-25-8128

広報みなみいせ 3件

NPO法人 故郷の海を愛する会
世界に繋がる海IN2016
 第4回イベント もりすくクリスマスまで学ぼう商船学校の歴史と航海の謎
 日 2016年12月10日(土)
 午前10時～午後3時30分
 場 活動場所 津市 鳥羽商船高等専門学校
 集合場所 鳥羽商船高専
 鳥羽商船高専
 対象 小学5・6年生、中学生
 内容 船や海の話の聞き、商船学校の探船シミュレーターで大型船の探船体験やエンジンの発停を体験します。
 定員 50名
 参加費 無料 (昼食、飲料水、保険付)
 申し込み ☎0599(25)8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp
 申込締切 12月8日(木)
 問い合わせ ☎0599-25-8045
 ※活動へのボランティアと故郷の海を愛する会の会員も募集しています。

広報たまき 1件

3.その他の活動

◎「明るい社会づくりの会」で活動紹介

5月29日、「明るい社会づくりの会」(久居地区)の総会に出席し、故郷の海を愛する会の活動紹介を行いました。子供たちに故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し、希望と憧れの気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もって、子供たちの健全な育成に寄与することを目的としている旨の話をしました。

◎海っ子体験

8月27日、南伊勢町の五ヶ所で南勢海洋少年団主催による「海っ子体験」が実施されましたが、セイラビリティ伊勢と共に故郷の海を愛する会のメンバーがボランティアとして活動協力しました。南伊勢町の小学生、保護者らがヨット、カヌー、カッターなどの体験を楽しみました。

海っ子体験

8月27日、三重外湾漁協五ヶ所事業所で「海っ子体験」が行われました。



この体験は、南勢海洋少年団と伊勢セイラビリティが協働し行われたものです。町内小学生児童や、その保護者らが参加し、ヨットやカヌー、カッター体験をしました。また、身体の不自由な方でも乗ることが可能なので、申しすでの参加もありました。参加者らは獅子島近くの海面の帆走を楽しみました。



広報みなみいせ

◎海洋少年団やセイラビリティ伊勢と協力して活動

海洋少年団に加え、セイラビリティ伊勢とも協力して活動しています。セイラビリティ伊勢は以下のボランティア活動を行いました。わが会のメンバーも参加して活動協力しました。

7月27,28,29日 伊勢市主催の「夏休み子ども体験ツアー2016 大湊コース」

9月24日 伊勢市民海洋スポーツ体験会



10月1日 南伊勢町 ヨット体験試乗会 賢浦

◎海学祭で活動紹介と近藤真琴展

10月31日(日)鳥羽商船高専で海学祭(文化祭)が開催されましたが、故郷の海を愛する会の活動紹介と校祖近藤真琴の紹介を写真パネルで展示して行いました。多くの方々に見て頂きました。

又、海学祭では我々の活動に際し協力して頂いている南勢海洋少年団と四日市海洋少年団に手旗信号実演をお願いし、多くの来場者に見て頂きました。一般の方々には手旗信号を見る機会がなかなかありません。「カイガクサイ カイサイ オメデトウ ゴザイマス」と手旗で紹介しました。解説しながらでしたので、何を伝えようとしたのか、わかって頂けたと思います。



活動紹介と近藤真琴展



校祖 近藤真琴



手旗信号実演



南勢海洋少年団と四日市海洋少年団

◎「近藤真琴」

鳥羽市の市民劇団「かたらずか」が鳥羽商船の校祖であり、鳥羽市の郷土の偉人である「近藤真琴」の上演を計画しています。具体的な上演スケジュールが決まれば故郷の海を愛する会も広報活動などに協力しようと考えています。現時点では2017年3月頃にイオンモール明和店等での広報活動を考えています。これに関連し近藤真琴について情報収集しようと近藤真琴が設立した攻玉社の資料館を会員数名が2016年6月に訪れました。



4.活動準備など

2016年度の活動に関連し、以下の通り活動への協力依頼・打ち合わせ・準備を行いました。

| 月日 | 相手 | 場所 | 目的 |
|--------|---|-------|-----------|
| 2015年 | | | |
| 12月14日 | 飛島コンテナ埠頭、太平洋フェリー | 名古屋市 | 活動その③協力依頼 |
| 2016年 | | | |
| 3月23日 | 志摩マリンレジャー | 志摩市賢島 | 活動その①協力依頼 |
| 6月4日 | 攻玉社学園 | 東京都 | 近藤真琴情報収集 |
| 6月22日 | 南勢海洋少年団 | 南伊勢町 | 活動その①協力依頼 |
| 6月27日 | JMU造船所 | 津市 | 活動その②協力依頼 |
| 7月20日 | 鳥羽丸 | 鳥羽市 | 活動その②打合せ |
| 9月16日 | 全日本船舶職員協会 日本船主協会 日本海事センター 日本中小型造船工業会 | 東京都 | 活動報告 |



飛島コンテナ埠頭



太平洋フェリー



志摩マリンレジャー



JMU津造船所 建造船

5.収支報告

2017年(平成29年)1月20日時点での仮決算であり、見込みの費用支払いなどを含んでいます。収入について、外部助成金は日本海事センター、全日本海員組合からそれぞれ¥50万、日本中小型造船工業会から¥18.19万頂いています。その他に、鳥羽商船同窓会から¥20万、鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部から¥10万(仮)、参加者の参加費¥23.5万、会費¥9.1万と寄付¥61.5万、その他収益¥2万、昨年度繰越金¥2.36万で合計¥246.65万となりました。その結果、外部助成金は合計で¥1481900、自己負担として¥984600となりました。(助成が約60%、自己負担が約40%)支出について、今年度は活動への応募者が多かったので当初計画よりも多くの人に参加して頂きました。その結果、バス代、昼食代などの費用が嵩んでいます。

平成28年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書(仮決算29年1月20日)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) 特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

| 科 目 | 金 額 (単位:円) | | |
|--------------------------|------------|------------------|------------------|
| I 経常収益 | | | |
| 1 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費(個人)(1,000円×88人分) | 88,000 | | |
| 正会員受取会費(団体)(1,000円×3団体) | 3,000 | 91,000 | |
| 2 事業収益 | | | |
| 第1回事業収益(1,000円×74人分) | 74,000 | | |
| 第2回事業収益(1,000円×52人分) | 52,000 | | |
| 第3回事業収益(1,000円×109人分) | 109,000 | 235,000 | |
| 3 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金(個人) | 553,000 | | |
| 受取寄付金(法人・団体) | 62,000 | 615,000 | |
| 4 受取助成金等 | | | |
| 受取民間助成金(日本中小型造船工業会) | 181,900 | | |
| 受取民間助成金(日本海事センター) | 500,000 | | |
| 受取民間助成金(全日本海員組合) | 500,000 | | |
| 受取民間助成金(鳥羽商船同窓会) | 200,000 | | |
| 受取民間助成金(鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部) | 100,000 | 1,481,900 | |
| 5 その他収益 | | | |
| 受取利息 | 24 | | |
| 雑収益 | 20,000 | 20,024 | |
| 経常収益合計 | | | 2,442,924 |
| II 経常費用 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| (1)人件費 | 0 | 0 | |
| (2)その他の経費 | | | |
| イベント事業費 | 437,262 | | |
| 業務委託費 | 250,000 | | |
| 諸謝金(講師・看護師・学生) | 102,992 | | |
| 募集経費 | 260,000 | | |
| 印刷製本 | 255,694 | | |
| 旅費交通費 | 659,180 | | |
| 保険料 | 173,804 | | |
| 雑費 | 104,516 | | |
| 事業費計 | | 2,243,448 | |
| 2 管理費 | | | |
| (1)人件費 | 0 | 0 | |
| (2)その他の経費 | | | |
| 旅費交通費 | 11,620 | | |
| 通信費・運搬費 | 75,696 | | |
| 消耗品 | 123,211 | | |
| 支払手数料 | 5,762 | | |
| 雑費 | 6,800 | | |
| その他経費合計 | | 223,089 | |
| 経常費用合計 | | | 2,466,537 |
| 当期正味財産増減額 | | | -23,613 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 23,613 |
| 次期繰越正味財産額 | | | 0 |

貸借対照表(仮決算29年1月20日)

平成29年3月31日現在

| 科 目 | 金 額 (単位:円) | | |
|-------------------|------------|---------|---------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 現金預金 | 45,000 | | |
| 未収金 | | | |
| 流動資産合計 | | | 45,000 |
| 2 固定資産 | | | |
| (1)有形固定資産 | | | |
| 什器備品 | 0 | | |
| 有形固定資産計 | | | 0 |
| (2)無形固定資産 | | | |
| ソフトウェア | 0 | | |
| 無形固定資産計 | | | 0 |
| (3)その他の資産 | | | |
| その他の資産合計 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | | 0 |
| 資産合計 | | | 45,000 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 0 | | |
| 前受会費 | 45,000 | | |
| 前受寄付金 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | | 45,000 |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | | 0 |
| 負債合計 | | | 45,000 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 23,613 | |
| 当期正味財産増減額 | | -23,613 | |
| 正味財産合計 | | | 0 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 45,000 |

広くご寄付をお願いしました。ご寄付頂いた方々は以下の通りです。ありがとうございました。

| | 金額 | | 金額 | | 金額 | | 金額 |
|------------------|---------|-------------|--------|--------------|--------|----------|---------|
| [久居地区]明るい社会づくりの会 | 30,000 | S40鳥羽商船有志一同 | 20,000 | S48(高専2期)卒有志 | 10,000 | 四日市海洋少年団 | 2,000 |
| テクノマリ | 100,000 | 菅沼延之 | 30,000 | 古川昭一 | 20,000 | 西山明 | 100,000 |
| 山下文徳 | 10,000 | 長谷川秀文 | 2,000 | 服部光幸 | 2,000 | 中西哲也 | 5,000 |
| 井上道彦 | 19,000 | 藤田稔彦 | 5,000 | 片岡兼行 | 1,000 | 大西彰夫 | 20,000 |
| 井上民規 | 2,000 | 徳島 博 | 10,000 | 三井健次 | 10,000 | 上杉幸三 | 10,000 |
| 鴨志田清敏 | 5,000 | 畑内康孝 | 10,000 | 神子功 | 3,000 | 水野正治 | 10,000 |
| 金田護 | 10,000 | 毛利純一 | 2,000 | 小林司 | 9,000 | 川口心也 | 10,000 |
| 溝井昇 | 6,000 | 鈴木晴敏 | 13,000 | 江崎隆夫 | 10,000 | 丹羽幸彦 | 4,000 |
| 三村徳蔵 | 10,000 | 久我正 | 10,000 | 石原賢一 | 20,000 | 杉田正純 | 2,000 |
| 山下文徳 | 10,000 | 原 嘉明 | 2,000 | 塩野明俊 | 10,000 | 山下文一 | 5,000 |
| 山田猛敏 | 10,000 | 飯島寿 | 9,000 | 中井一文 | 10,000 | 千道英雄 | 1,000 |
| 柴原美満 | 5,000 | 佐藤善喜 | 2,000 | 濱地義法 | 4,000 | | |
| 松浦肇 | 1,000 | 増島忠弘 | 10,000 | | | | |

2017年1月時点

6. 2017年度の活動計画

2017年度の活動は「海から始まる物語 IN 2017」と題し、以下の活動を計画しています。

第1回イベント 海の博物館見学と海の話

バスで鳥羽市の海の博物館に移動し、海の博物館を見学し、海の話等を聞く。

海辺で磯遊びなどの体験もする。

募集人員60名+ボランティア。

場所:鳥羽市 海の博物館 時期:7月初旬

第2回イベント JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

バスで津市に移動し、JMU造船所でLNG船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。

午後は造船所で鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして航行する大型船を近くで見る。

船上では船の設備・構造・機関等のお話、ロープワーク等を体験する。

募集人員60名+ボランティア。(活動に際しての協力:鳥羽商船高専並びにJMU)

場所:津市及び伊勢湾。 時期:7月下旬

第3回イベント 四日市港の見学と火力発電所見学

バスで四日市に移動し、四日市港を見学、川越火力発電所の電力館テラ46でLNG船が運んできたLNGを焚いて発電する様子を学ぶ。

募集人員90名+ボランティア。

場所:鳥羽市～四日市市 時期:8月下旬

第4回イベント もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、操船シミュレーターで模擬操船体験や大型機関の発停を体験する。他にコンピューター・プログラム・ロボットなどの講演を聞き、ロボットやアプリの体験をする。

募集人員50名+ボランティア。(活動に際しての協力:鳥羽商船高専)

場所:鳥羽商船高等専門学校校内 時期:12月下旬

年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・三重県教育委員会・近隣市町自治体(鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町・津市)の教育委員会の後援を得て参加者募集を行う。鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施していく。助成に関しては、鳥羽商船同窓会に加え、日本中小型造船工業会、日本海事センター、全日本海員組合等からの助成を期待しています。

活動計画としては、上記に加えて、

- ・鳥羽商船学校の校祖「近藤真琴」を鳥羽の市民劇団かたらずかが上演するので協力する。4月頃か?
- ・又、校祖「近藤真琴」を紹介するパネル展を鳥羽商船高専の海学祭(11月頃)で行います。
- ・セイラビリティ伊勢や海洋少年団の活動に協力したいと考えています。

7.主催者の感想と反省など

子供たちにもっと世界に繋がる船や海を知ってもらおうと活動を開始して8年経ちました。最初の3年間は日本財団の助成を得て年に3回の活動を実施していました。その後はいくつかの海事関係の団体の協力を得て、年に4～5回の活動を実施しています。

応募状況様変わり

今年度は募集開始を従来より早め、6月初めから行いましたが、その結果、従来と全く様変わりの応募状況で、活動その①②③、どれも早々の応募締切となり、多くの方にお断りもしました。その理由として、従来は7月初めから募集開始していましたが、それでは夏休みの子供たちの予定がほぼ決まっており、遅かったように思います。これほどまでに多くの応募があるとは嬉しい悲鳴でした。その他に、伊勢志摩サミットの行われた賢島・英虞湾をその①の活動場所にした事、より参加し易いように集合場所を考慮した事なども考えられます。これからも6月初めには募集開始できるように準備します。

募集対象地域と広報活動

参加者募集対象地域は2015年度から三重県の中南勢地区にある津市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、玉城町、度会町、南伊勢町の5市5町としています。2015年度の対象地域の小学5・6年生と中学1・2年生の数は24483名でしたが、2016年度は24227名と少し減少しています。

参加者のアンケートにイベントを何で知ったかと聞いていますが、多くが「学校」と答えています。「広報紙」と答えている人もいますが少数です。よって、費用は掛かりますが、これからも、募集の為に各学校にポスター、各対象生徒にビラの用意が必要です。広報紙による応募もあり、無料で募集記事を掲載して頂けるので、こちらも今後も続けるべきでしょう。多くの市町が協力して下さっています。

ただ、活動開始以来、募集ポスターなどの配布のために各市町と各市町教育委員会に後援許可を頂いていましたが、来年度からは各市町教育委員会のみにも後援申請をしようと考えています。

新聞やテレビなどに募集記事や活動記事を掲載して頂くべく、情報提供を鳥羽市、伊勢市、松阪市、津市の記者クラブに行いましたが、芳しくありませんでした。来年はもっと丁寧に行います。

活動協力団体

南勢海洋少年団、四日市海洋少年団には活動での手旗信号実演やカッター・カヌー体験で協力して頂き、多くの団員である子供たちに我々の活動に参加して頂きました。南勢海洋少年団の活動の際には故郷の海を愛する会の会員がボランティアとして協力しています。

セイラビリティ伊勢は昨年度の活動に際し、ヨット体験で協力して頂きました。今年度はセイラビリティ伊勢の活動に際し、ボランティアとして協力しています。

これからも、お互いに協力し合って活動を続けたいと考えています。

安全と安心

今年度も多くの参加者を得ての活動となりましたが、おかげさまで無事の終了となりました。活動に際しては看護師さんに同行して頂きました。船酔いや気分の悪くなった子供たちがいましたが、適切な処置・対応をして頂けたと感謝しています。今後とも安全と安心をモットーに活動を続けます。

保護者の参加

昨年度の活動その②では多くの保護者に一緒に参加して頂きました。親子で一緒に活動し、非常に良い経験だったと大変喜んでおられました。ただ、本会は当初から、「活動は子供だけ参加」とし、子供が保護者から離れて、見知らぬ子供たちと一緒に活動するようにしたいと考えているので、今年度は子供だけの参加としました。今後も基本的には保護者も一緒に参加とはしないつもりです。

嬉しい話

昨年と今年の活動に参加した小学5年生から嬉しい作文を受け取りました。紹介します。私たちは子供達にもっと世界に繋がる船や海を知ってもらおうと活動していますが、我々の活動に参加した結果、もっと海を知りたいと、将来は航海士になりたいと思ってくれているようです。我々にはとっても(海洋少年団にとっても)うれしい話です。

「海」

川崎市立金程小学校五年 泉 綾

私は去年、「船に乗って海を学ぶ」と「ヨットに乗って風を知ろう海を知ろう」というイベントに参加しました。「船に乗って海を学ぶ」では、本物の航海士さんにロープワークを教してもらい、操舵室見学をしました。その時に、私もしょう来、航海士になって海の上でお仕事をしてみたいなと思いました。数日後、「ヨットに乗って海を知ろう風を知ろう」のイベントで、海洋少年団のお姉さんたちに手旗信号を教してもらったり、一緒にヨットに乗りました。海洋少年団のお姉さんたちは、とても親切ですぐ仲良くなる事が出来、手旗もヨットもとても楽しかったです。このことが心に残って私も海洋少年団に入りました。今年も、「世界につながる海」に参加し、造船所見学や、航海体験をすることが出来ました。海があれいて船がとてもゆれて大変でしたが、貴重な経験になりました。これからも、もっと海に関する事を知りたいです。

本会の活動のその②とその④が鳥羽商船高専の公開講座として実施されました。2015年度からです。

終りに

後援、資金・資料提供等本活動に関し、以下の団体、自治体、会社に多大なるご協力を頂きました。成功裏の活動終了はみなさんのおかげです。ありがとうございました。

- ・中部運輸局、三重県運輸支局鳥羽海事事務所
- ・三重県教育委員会 ・津市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、度会町、玉城町、南伊勢町の各市町・教育委員会、各小中学校
- ・日本海事センター ・日本船主協会 ・全日本海員組合
- ・日本中小型造船工業会 ・日本内航海運組合総連合会
- ・JMU津造船所 ・飛島コンテナ埠頭 ・太平洋フェリー ・志摩マリンレジャー
- ・伊勢湾フェリー ・鳥羽商工会議所 ・鳥羽市観光協会 ・伊勢志摩国立公園協会
- ・南勢海洋少年団 ・四日市海洋少年団 ・セイラビリティ伊勢
- ・鳥羽商船高等専門学校
- ・鳥羽商船同窓会 ・鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部

イベントの参加者募集や活動の報告などの情報は以下のブログで見て頂けます。

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>



活動実績・収支報告・組織運営などの団体情報は以下をご覧ください。

<http://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442>



(2017年1月最終報告として作成 S.K)

ふるさと
NPO法人 故郷の海を愛する会



三重県鳥羽市鳥羽三丁目31番37号
Tel 0599-25-8045 Fax 0599-25-8128
Email: umiwoaisurukai@yahoo.co.jp